



出前あすなる塾

夏本番！先生方の前向きな姿に感動！

7月30日(金)袖ヶ浦市立総合教育センター、8月2日(月)白子町青少年センターにて、出前あすなる塾を行いました。袖ヶ浦市では15名、白子町では17名の小・中学校先生方が参加し、暑さに負けず、前向きに演習や情報交換に取り組みました。両会場とも、やる気あふれる研修会となりました。

○袖ヶ浦市 保護者との関係づくり / 「能動的に考える」授業づくり

保護者との関係づくり

保護者との関係を築くために、日々の基本的な行動が大切であるということについて講話をしました。2つのケース演習を通して、保護者対応の実際について考えていただきました。



「能動的に考える」授業づくり

子どもたちが、能動的になるための「働きかけ」について講話をしました。自分のこれまでの授業実践を振り返りながら、演習を通して、今後の具体的な手立てについて考えていただきました。



【参加者の声】

- ・保護者対応では、傾聴、記録、複数で対応するということを今後意識していきたいです。【小】
- ・初期対応に気をつけ、先手を打つことで、保護者に不安や心配をかけないようにしていきたいです。【小】
- ・思考ツールやICTを活用するなど、今日増やした自分の引き出しを、適切な場面で使えるようにしていきたいです。【小】
- ・報告、連絡、相談や授業での「揺らぎ」の工夫など、夏休み明けからすぐに実践していきたいです。【小・中】

○白子町 集団を育てる / 教材研究と問い

集団を育てる

「好ましい人間関係」「規範意識」に焦点を当て、学級づくりについて講話をしました。演習を通して、構成的グループエンカウンターを体験したり、自分の実践を紹介したりしていただきました。

教材研究と問い

目標分析や略案ノートといった、教材研究の仕方について講話をしました。演習を通して、子どもたちが主体的に取り組める問い(学習問題)について考えていただきました。



【参加者の声】

- ・好ましい人間関係を築くことができるように、より子どもと接する時間を増やしていきたいです。【小】
- ・情報交換で、他校の先生からいただいた学級経営のアイデアを実践してみたいです。【小・中】
- ・この夏休みを利用し、まずは略案ノートづくりから始めていきたいです。【小・中】
- ・小学校の先生方がどのように考え児童と接しているのか、中学校との授業づくりや学級づくりのちがいを感ずることができました。異校種の先生方と交流ができたことで視野が広がりました。【中】